

京都教育大学附属高等学校

2021 年度 高等学校教育実践研究集会のご案内 (オンライン開催)

2022 年 **2 月 19 日 (土)** 10:00 - 15:40

テーマ：「学びに向かう力の育成 一教科指導の立場から一」

講演会 **稲井 達也 先生** (大正大学人間学部教育人間学科教授)

演題「探究学習をつくる 一問いを育て、問いを深める一」

会 場：Zoom によるオンライン開催

主 催：京都教育大学附属高等学校

京都教育大学教育創生リージョナルセンター機構

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会 <申請中>

京都教育大学附属高等学校

〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町 111

TEL：(075) 641-9195 FAX：(075) 641-3871

URL：http://www.kyokyo-u.ac.jp/koukou/

申込締切

2月 14日 (月)



2021 年度教育実践研究集会のご案内

2022 年 1 月吉日

京都教育大学

教育創生リージョナルセンター機構

機構長 榊原 禎宏

京都教育大学附属高等学校

学校長 谷口 和成

寒冷の候、貴校におかれましてはますますご清栄のことと存じます。平素より、本校の研究並びに教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび下記の通り、2021 年度教育実践研究集会を今年度はオンラインにて開催することとなりました。各教科の実践報告を通して本校の教育活動をご紹介します、研究協議会では、ご参加いただく先生方との様々な意見交流を行いたいと考えております、つきましては、公務が多忙の折とは存じますが、多数の先生方にご参加いただきますよう、格別のご高配をよろしくお願い申し上げます。

テーマ 学びに向かう力の育成－教科指導の立場から－

2022 年度からの新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」という視点に立つ授業改善を求めています。また、「知識・技能の習得」に留まらず、それを基盤に、「学びを人生や社会に生かそうとする力の育成」を謳っています。現在、本校でも新たなカリキュラムが構築され、来年度からの実施に向けて準備を進めているところであります。このような状況の中で、各教科がどのような取り組みを行っているのかをご覧ください、先生方からご意見やご助言をいただき、本校における今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

会場：Zoom によるオンライン開催

主催：京都教育大学附属高等学校

京都教育大学教育創生リージョナルセンター機構

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会 <申請中>

日程：2022 年 2 月 19 日（土）

発表教科：数学、地歴公民、保健体育、家庭科、国語（総合的探究活動）

当日のスケジュール

9:30～10:00	10:00～10:30	10:40～11:50	11:50～12:50
受付・接続確認	全体会	実践報告Ⅰ 発表・研究協議	昼休み
12:50～14:00	14:15～15:45	15:45～	
実践報告Ⅱ 発表・研究協議	講演会	閉会の挨拶	

実践報告Ⅰ 10:40～11:50

科目	授業者	助言者	テーマ	内容
数 学Ⅰ	葛城 元	黒田 恭史 京都教育大学 数学科教授	ハイブリッド型 数学授業の 実践とあり方	コロナ禍を契機にスタートしたオンラインと対面形式の併用によるハイブリッド型数学授業の実践報告とそのあり方について検討する。
家庭総合	富田 滋子	榊原 典子 京都教育大学 名誉教授	主体的・対話的で 深い学びの視点 からの授業改善	SDGs、児童労働やエシカル消費を題材として、生徒の主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を試み、その実践報告を行う。

実践報告Ⅱ 12:50～14:00

科目	授業者	助言者	テーマ	内容
地歴公民	新井・高 藤原・岸本	山下 宏文 京都教育大学 社会科教授	地理総合・ 歴史総合・ 公共のあり方	地理総合・歴史総合・公共について、個別事例を踏まえて、これまでの科目との関連などについて言及したいと考えている。
体 育	松本 卓也	小松崎 敏 京都教育大学 体育学科准教授	これからの 体育授業・ 学校行事との 連携を考える	「ICTを活用した体育授業」及び「コロナ禍における学校行事と体育授業との連携」、2本の実践報告を行った上で、今この時と、これからを見据えた、体育授業と学校行事の在り方や展望を考え、協議する。

科 目	授業者	助言者	テ ー マ	内 容
古典探究Ⅰ (総合的 探究活動・ グローバル スタディ ーズ)	永石あずみ 吉田 竹史	浜田 麻里 京都教育大学 国文学科教授	「笑い」を通して 世界を見る目を 養う	本学のグローバル・スタディーズでは、「人類共通の価値観を踏まえ、様々な課題を特定の文化や国に縛られずに多元的に捉え、多様な文化や言語の違いを調整して、他者と協働する」力の育成に取り組んでおり、今年度は人類共通であり、かつ個々のローカルな文化に根ざしている「笑い」という両義的で奥深い事象を取り上げ、課題研究に取り組んでいる。

講演会

14:15～15:45

演題「探究学習をつくる－問いを育て、問いを深める－」

講師：稲井 達也 先生

(大正大学人間学部教育人間学科 教授)



1962（昭和 37）年、東京都文京区生まれ。

大正大学人間学部教育人間学科教授（教職支援センター兼務）、附属図書館長（図書館情報メディア部長兼務）

上智大学文学部国文学科卒 東洋大学大学院文学研究科博士前期課程修了 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了

博士（学術）、修士（教育学）

専門は、国語科教育、学校図書館

主な研究テーマは、読書指導 学校図書館を活用した探究学習

日本 NIE 学会常任理事 日本図書館情報学会編集委員 公益社団法人全国学校図書館協議会参事

科研費は「言語運用能力に資する（科研費 2014-2016、研究代表者）」「前後の読書指導史に関する研究」（2019-2021、研究代表者）

「昭和 20・30 年代の文集を用いて多角的に子どもの表現力を探求する研究」（2019-2021、共同研究者）

著書に、『高等学校「探究的な学習」実践カリキュラム・マネジメントー導入のための実践事例 23』（2019 年、学事出版）、『高校授業「学び」のつくり方ー大学入学共通テストが求める「探究学力」の育成』（2019 年、東洋館出版社）、『学び合い育ち合う学校図書館づくりー新しい時代の学びのリノベーション』（2020 年、学事出版）などがある。

趣味は、マラソン、空手、自転車